

川越市スポーツ意識調査結果の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、次期計画の策定やその他スポーツ施策の基本的な方向性を検討するために実施したものである。

2 調査の概要

(1) 調査対象者

川越市内において住民基本台帳に記録のある16歳以上の男女

(2) 調査数

3,000人（調査対象者から無作為抽出）

(3) 調査対象地域

川越市内全域

(4) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(5) 調査の回答方法

同封の返信用封筒に調査書を封入し郵送にて返信

(6) 調査の期間

令和6年2月8日から令和6年3月8日まで

3 回収状況

調査票発出数	3,000名
回収数	996名
回収率	33.2%

4 調査結果を参照するにあたっての留意点

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を示している。つまり、無回答の扱いとなった数値は含まない。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 図表及び文章中では、選択肢の一部を省略している場合がある。
- (4) 誤差を考慮し、nが20未満のものについては、コメントしていない。
- (5) 選択肢にない回答を行った場合や設問の指示と異なる回答をした場合（1つのみを選択すべきところを複数選択したなど）は、無回答として取り扱う。

Ⅱ アンケート調査結果（抜粋・抜粋した都合上、一部表現の調整あり）

Ⅱ あなたが普段どのくらい運動に取り組んでいるかをお聞きます。

問12 あなたは、どのくらい運動に取り組んでいますか。（1つを選んでください）

選択肢	回答数	回答比率
1 毎日	9 4	9. 5 %
2 週に6日	3 1	3. 1 %
3 週に5日	6 2	6. 3 %
4 週に4日	6 2	6. 3 %
5 週に3日	8 0	8. 1 %
6 週に2日	9 1	9. 2 %
7 週に1日	9 8	9. 9 %
8 月に1日から3日	6 8	6. 9 %
9 3か月に1日から2日	2 8	2. 8 %
10 年に1日から3日	9	1. 0 %
11 運動は行っていない	3 6 5	3 6. 9 %
無回答	8	—

n = 9 8 8

運動の習慣の頻度を尋ねたものである。最も多いのは、「週に1日」であり9. 9%、次いで「毎日」の9. 5%、「週に2日」の9. 1%である。

なお、厚生労働大臣の定める「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」において、運動習慣者の定義の要件の一つである週2回以上運動に取り組んでいる方は、4 2 0人であり4 2. 5%である。

問13 運動する日について、平均すると1日にどのくらいの時間、運動に取り組んでいますか。（1つを選んでください）

選択肢	回答数	回答比率
1 3 0分未満	1 3 8	2 2. 2 %
2 3 0分以上4 0分未満	1 1 6	1 8. 6 %
3 4 0分以上6 0分未満	1 2 8	2 0. 5 %
4 6 0分以上9 0分未満	1 2 8	2 0. 5 %
5 9 0分以上1 2 0分未満	6 9	1 1. 1 %
6 1 2 0分以上	4 4	7. 1 %
無回答	0	—

n = 6 2 3

問 12 において、「運動は行っていない」と回答した方、「無回答」であった方を除き、運動する日の 1 日あたりの運動時間を明らかにしようとしたものである。最も多いのは「30 分未満」であり、22. 2 %、次いで「40 分以上 60 分未満」と「60 分以上 90 分未満」が 20. 5 %で続いている。

なお、厚生労働大臣の定める「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」において、運動習慣者の定義の要件の一つである 1 回 30 分以上の運動に取り組んでいる方は、357 人であり 57. 3 %である。

問 14 あなたは、現在まで、その運動をどのくらいの期間、継続させていますか。

(1 つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 1 週間以上 1 か月未満	3 6	5. 8 %
2 1 か月以上 3 か月未満	4 5	7. 3 %
3 3 か月以上 6 か月未満	4 1	6. 6 %
4 6 か月以上 1 年未満	4 5	7. 3 %
5 1 年以上	4 5 3	7 3. 1 %
無回答	3	—

n = 620

運動を継続させている期間に関しては、「1 年以上」が 73. 1 %となっている。次いで「1 か月以上 3 か月未満」と「6 か月以上 1 年未満」が 7. 3 %で続く状況である。運動を始めた後は、継続させる方の割合が多いことが推測される。

<運動習慣者の割合>

厚生労働大臣の定める「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」において、運動習慣者（1 回 30 分以上の運動を、週 2 回以上実施し、1 年以上持続している人）の増加を掲げ、令和 14 年度の目標値を男性の 20 歳から 64 歳を 30 %、女性の 20 歳から 64 歳を 30 %、男性の 65 歳以上を 50 %、女性の 65 歳以上を 50 %と設定し、年齢調整を行ったうえでの総計の目標値を 40 %と設定している。

本調査における運動習慣者に該当する者は、285 人であり、問 12 において回答のあった 988 人を母数とする場合、運動習慣者の割合は 28. 8 %となり、令和元年度の国の国民健康・栄養調査における割合が 28. 7 %であるため、おおむね同等の数値となっている。

問 20 あなたは、主にどこで運動に取り組んでいますか。（1つを選んでください）

選択肢	回答数	回答比率
1 道路（歩道）	1 9 9	3 2. 4 %
2 自宅	1 1 9	1 9. 3 %
3 公共のスポーツ施設	6 6	1 0. 7 %
4 民間のインドアスポーツ施設	6 8	1 1. 1 %
5 民間のアウトドアスポーツ施設	2 5	4. 1 %
6 公園	3 4	5. 5 %
7 学校体育施設	3 4	5. 5 %
8 山、森林、海、川などの自然環境	1 8	2. 9 %
9 職場又は職場敷地内	1 0	1. 6 %
10 公民館	1 4	2. 3 %
11 空き地	4	0. 7 %
12 その他	2 4	3. 9 %
無回答	8	—

n = 6 1 5

運動に取り組む場所については、「道路（歩道）」が3 2. 4 %と最も高い。次いで、「自宅」が1 9. 3 %であり、生活の場から近い場所で運動する様子が見える。他方、「公共のスポーツ施設」や「民間のインドアスポーツ施設」も1 0 %を超える比率となっており、スポーツ施設が運動の場として活用されている様子が見られる。

問 24 あなたは、どうすればより運動に取り組むようになると思いますか。（1つを選んでください）

選択肢	回答数	回答比率
1 仕事が忙しくなかったら	1 7 3	2 0. 4 %
2 家事や育児が忙しくなかったら	7 5	8. 8 %
3 健康になったら	7 3	8. 6 %
4 場所や施設ができたら	1 2 3	1 4. 5 %
5 一緒に取り組む仲間ができたら	8 5	1 0. 0 %
6 指導者がいるようになったら	1 8	2. 1 %
7 金銭的余裕ができたら	9 3	1 0. 9 %
8 運動が好きになったら	7 5	8. 8 %

9 その他	4 7	5. 5 %
10 これ以上、運動に取り組むようになることはない	8 8	1 0. 4 %
無回答	1 4 6	—

n = 8 5 0

現に運動を行っている方、行っていない方を含めて、現状より運動により取り組むようになるためには、どのようになれば良いのか。また、運動に取り組むにあたっての阻害要因を明らかにしようと尋ねたものである。

最も多いのが「仕事が忙しくなかったら」で2 0. 4 %を占めている。次に、「場所や施設ができたら」で1 4. 5 %である。その他、1 0 %を超えるものとして、「金銭的余裕ができたら」、「一緒に取り組む仲間ができたら」となっている。

III あなたがスポーツについてどのようにお考えか伺います。

問 25 スポーツをすることは好きですか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 好き	3 1 4	3 1. 9 %
2 どちらかといえば好き	2 1 5	2 1. 8 %
3 普通	2 9 3	2 9. 8 %
4 どちらかといえば嫌い	1 1 9	1 2. 1 %
5 嫌い	4 3	4. 4 %
無回答	1 2	—

n = 9 8 4

スポーツをすることが「好き」との回答が3 1. 9 %と最も多く、次いで「普通」との回答が2 9. 8 %となっている。「好き」または「どちらかといえば好き」と答えた方の割合が5 3. 8 %であり、「どちらかといえば嫌い」または「嫌い」と答えた方の割合が1 6. 5 %であることを踏まえると、スポーツすることに肯定的な意見を持った方が多いことがわかる。

問 27 スポーツを始めたきっかけは何ですか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 両親又は兄弟など家族から勧められて	6 4	1 5. 2 %
2 友人に誘われて	1 5 1	4 0. 0 %
3 選手の活躍を見て	3 0	7. 1 %
4 テレビなどメディアの影響を受けて	3 3	7. 9 %

5 医師や看護師などの医療従事者に勧められて	1 8	4. 3 %
6 その他	1 2 4	2 9. 5 %
無回答	7	—

n = 4 2 0

スポーツを始めるきっかけが何にあるのかを明らかにしようとする設問である。「友人に誘われて」が40. 0 %であり、「両親又は兄弟など家族から勧められて」が15. 2 %であるから、他者の影響によりスポーツを始める方が多いことがわかる。

問29 問26で「23 スポーツをすることはない」とお答えの方にお聞きします。

問29-1)その理由は何ですか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 苦手である	8 2	1 6. 3 %
2 嫌いである	3 3	6. 4 %
3 できる場所がない	3 4	6. 7 %
4 時間がない	1 4 7	2 9. 2 %
5 一緒に競技する友人や仲間がいない	6 4	1 2. 7 %
6 金銭的余裕がない	3 3	6. 5 %
7 高齢、障害など、心身の状態によりできない	7 2	1 4. 3 %
8 その他	3 9	7. 7 %
無回答	2 1	—

n = 5 0 4

問26「普段、どのようなスポーツをしていますか」との設問に対し、「23 スポーツをすることはない」と答えた方(952人中525人。55. 1 %)に対し、その理由を尋ねたものである。最も多いのは、「時間がない」で29. 2 %、次いで「苦手である」が16. 3 %、「高齢、障害など、心身の状態によりできない」が14. 3 %、「一緒に競技する友人や仲間がいない」が12. 7 %と続いている。

問30 スポーツを観ることは好きですか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 好き	4 2 7	4 3. 3 %
2 どちらかといえば好き	1 7 2	1 7. 4 %
3 普通	3 0 3	3 0. 7 %
4 どちらかといえば嫌い	5 9	6. 0 %

5 嫌い	2 5	2. 5 %
無回答	1 0	—

n = 9 8 6

スポーツを観戦することに関する設問である。「好き」と答えた方が44. 3 %であり、「普通」と答えた方が30. 7 %、「どちらかといえば好き」と答えた方が17. 4 %となっている。他方、「どちらかといえば嫌い」または「嫌い」と答えた方は合計で8. 5 %にとどまり、スポーツ観戦について好意的な結果となっている。

問 32 スポーツの観戦方法についてお聞きします。

問 32-2 スタジアムや体育館などの会場で試合を観戦したいと思いますか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 とても思う	2 4 8	3 0. 2 %
2 やや思う	3 0 3	3 6. 9 %
3 あまり思わない	2 1 7	2 6. 4 %
4 まったく思わない	5 4	6. 6 %
無回答	9	—

n = 8 2 2

テレビやラジオによる放映によらず、スタジアムや体育館での生での観戦に対する意識を尋ねたものである。生でのスポーツ観戦について、「とても思う」、「やや思う」が67. 0 %であり、「あまり思わない」、「まったく思わない」が33. 0 %であるため、スタジアムや体育館などの会場観戦を行いたいという需要が一定程度あるものと推測される。

問 33 問 31 で「23 スポーツ観戦はしない」とお答えの方にお聞きします。

問 33-1)その理由は何ですか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 苦手である	2 4	1 7. 0 %
2 嫌いである	2 2	1 5. 6 %
3 観戦できる場所がない	2	1. 4 %
4 観戦する時間がない	3 5	2 4. 8 %
5 観戦する金銭的な余裕がない	4	2. 8 %
6 高齢、障害など、心身の状態により観戦できない	6	4. 3 %

7 その他	4 1	2 9. 1 %
無回答	7	—

n = 1 3 4

問 31 で「23 スポーツ観戦はしない」と回答した方、1 4 1 人に対する設問である。「観戦する時間がない」と答えた方が2 4. 8 %となっており、「苦手である」、「嫌いである」が続いている。

問 33-2) どうすれば、スポーツを観るようになると思いますか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 スポーツを観戦する場所や施設の確保	7	5. 1 %
2 地元のプロスポーツチームの存在	4	2. 9 %
3 一緒に観戦する友人や仲間の存在	3 4	2 5. 0 %
4 その他	1 4	1 0. 3 %
5 スポーツを観戦するようになることはない	7 7	5 6. 6 %
無回答	5	—

n = 1 3 6

問 31 で「23 スポーツ観戦はしない」と回答した方、1 4 1 人に対する設問である。スポーツを観戦するようになるきっかけとして、「一緒に観戦する友人や仲間の存在」を挙げる方が2 5. 0 %である。他方、「スポーツを観戦するようになることはない」の方が5 6. 6 %となっている。

問 37 あなたは、スポーツが地域の活性化に役立つと思いますか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 とても思う	3 0 4	3 1. 2 %
2 やや思う	4 9 7	5 1. 1 %
3 あまり思わない	1 4 8	1 5. 2 %
4 まったく思わない	2 4	2. 5 %
無回答	2 3	—

n = 9 7 3

スポーツが地域の活性化に繋がるとの意見が8 2. 3 %を占めており、単なる健康増進を超えた役割を期待する考えが多くを占めることがわかる。

IV 市のスポーツ施策について、どのようにお考えか伺います。

問 40 市のスポーツ施策について、最も重要と考えるものを1つお選びください。

選択肢	回答数	回答比率
1 野球場、陸上競技場、体育館などの大規模施設の整備や維持管理	1 6 8	1 7 . 5 %
2 小規模ながらも身近な場所で運動やスポーツができる多目的グラウンドなどの整備	3 8 9	4 0 . 6 %
3 市のPRに繋がるような大規模なイベントの開催	4 9	5 . 1 %
4 市民が一体となって盛り上げられるプロチームの誘致	8 7	9 . 1 %
5 市民が楽しめるスポーツ教室の充実	2 0 0	2 0 . 9 %
6 各種団体などの創意工夫によるイベントを開催できるための補助金などの充実	3 0	3 . 1 %
7 その他	3 6	3 . 6 %
無回答	3 7	—

n = 9 5 9

最も多くを占めるのが、「小規模ながらも身近な場所で運動やスポーツができる多目的グラウンドなどの整備」で40.6%である。問29において、「スポーツをする時間がない」と答えた方が多いとの結果と併せて、規模は大きくなくとも、身近な場所で移動時間を少なく、気軽に運動できる場が求められていると推測される。

問 41 市が整備する必要があると最も感じる施設を1つ挙げてください。

選択肢	回答数	回答比率
1 野球場	9 6	1 0 . 1 %
2 ソフトボール場	8	0 . 8 %
3 サッカー場	4 5	4 . 7 %
4 フットサル場	6	0 . 6 %
5 ラグビー場	7	0 . 7 %
6 テニスコート	2 5	2 . 6 %
7 プール	6 2	6 . 5 %
8 BMX・スケートボード場	1 0	1 . 1 %
9 屋外バスケットボールコート	1 7	1 . 8 %
10 屋外スリー・オン・スリーコート	1 0	1 . 1 %
11 アイススケート場	2 1	2 . 2 %

12 ゴルフ練習場	1 1	1. 2 %
13 グラウンド・ゴルフ場	8	0. 8 %
14 マレットゴルフ場	0	0 %
15 ゲートボール場	0	0 %
16 フィットネスクラブやジム	7 8	8. 2 %
17 体育館	6 9	7. 2 %
18 陸上競技場	1 3	1. 4 %
19 武道場	6	0. 6 %
20 軽体育室	3 3	3. 5 %
21 運動や多様なスポーツができる多目的 グラウンド	3 4 2	3 5. 9 %
22 その他	4 7	4. 9 %
23 スポーツ施設は必要ない	4 3	4. 5 %
無回答	4 4	—

n = 9 5 2

最も多いのは、「運動や多様なスポーツができる多目的グラウンド」であり、3 5. 9 %を占める。次いで「野球場」が1 0. 1 %で、「フィットネスやジム」が8. 2 %、「体育館」が7. 2 %、「プール」が6. 5 %と続く。「フィットネスやジム」や「プール」に関しては、民間スポーツジム等も多くあるため、今後の連携を検討する必要があると思料される。

問 42 市のスポーツ施設整備の方向性に関し、あなたの考えに最も近いもの1つを選択してください。

選択肢	回答数	回答比率
1 他市に誇れる大規模なスポーツ施設を整備してほしい	1 4 0	1 4. 8 %
2 身近な場所でスポーツに取り組める小規模のスポーツ施設を複数整備してほしい	5 5 6	5 8. 7 %
3 スポーツ施設は、現在の施設の維持、改善程度にとどめてほしい	1 6 7	1 7. 6 %
4 スポーツ施設は不要であり、他の施策にコストを掛けてほしい	5 7	6. 0 %
5 その他	2 7	2. 9 %
無回答	4 9	—

n = 9 4 7

市のスポーツ施設整備の方向性を尋ねたものである。最も多いのが「身近な場所でスポーツに取り組める小規模のスポーツ施設を複数整備してほしい」で58.7%である。次いで「スポーツ施設は、現在の施設の維持、改善程度にとどめてほしい」が17.6%であり、「他市に誇れる大規模なスポーツ施設を整備してほしい」が14.8%である。

特筆すべきは、「スポーツ施設は不要であり、他の施策にコストを掛けてほしい」が6.0%であることであり、規模の大小はあれ、スポーツ施設整備に対する需要が市民の間に多く存在することが想定される。

問 45 野球場について、どのようにお考えかお聞きします。

問 45-1) 川越初雁球場に代わる、新たな野球場の整備を行った方が良いと思いますか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 とても思う	1 5 1	1 5. 9 %
2 やや思う	2 0 6	2 1. 7 %
3 あまり思わない	4 3 3	4 5. 6 %
4 まったく思わない	1 5 9	1 6. 8 %
無回答	4 7	—

n = 9 4 9

劣化や陳腐化が著しい川越初雁球場に代わる新たな野球場の整備に関する設問である。「とても思う」と「やや思う」が37.6%、「あまり思わない」と「まったく思わない」が62.4%であり、新たな野球場の整備に否定的な意見が比較的多い。

問 45-3) 問 45-1 で「3 あまり思わない」又は「4 まったく思わない」とお答え

の方にお聞きします。理由は何ですか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 野球に興味がないから	1 7 0	2 9. 3 %
2 野球場以外のことに予算を使ってほしいから	1 1 1	1 9. 1 %
3 既存のグラウンドを活用すれば十分と考えているから	2 4 1	4 1. 6 %

4 その他	5 8	1 0. 0 %
無回答	1 2	—

n = 5 8 0

新たな野球場の整備に否定的な意見を持つ方に、理由を尋ねる設問である。「既存のグラウンドを活用すれば十分と考えているから」と考える方が4 1. 6 %を占める。「野球自体に興味がないから」を理由に挙げる方が2 9. 3 %となっている。

問 49-2) スポーツ教室のあり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つを選んでください)

選択肢	回答数	回答比率
1 人気のある種目を対象に、行政が積極的にスポーツ教室を主催してほしい	1 2 4	1 3. 3 %
2 認知度の低いスポーツの普及促進を目的に、行政が積極的にスポーツ教室を主催してほしい	1 0 8	1 1. 6 %
3 民間のスポーツ教室を活用することを前提に、委託や補助によって市民が安価にスポーツ教室に参加できる方法を模索してほしい	4 4 1	4 7. 3 %
4 行政の役割は、市民と民間スポーツ教室のマッチング、情報提供のみで十分	1 4 3	1 5. 3 %
5 民間のスポーツ教室も充実しており、行政がスポーツ教室に関与する必要はない	8 2	8. 8 %
6 その他	3 5	3. 6 %
無回答	6 3	—

n = 9 3 3

市民向けに展開しているスポーツ教室のあり方に関する設問である。「民間のスポーツ教室を活用することを前提に、委託や補助によって市民が安価にスポーツ教室に参加できる方法を模索してほしい」との意見が4 7. 3 %を占めている。次いで「行政の役割は、市民と民間スポーツ教室のマッチング、情報提供のみで十分」が1 5. 3 %、「人気のある種目を対象に、行政が積極的にスポーツ教室を主催してほしい」が1 3. 3 %、「認知度の低いスポーツの普及促進を目的に、行政が積極的にスポーツ教室を主催してほしい」が1 1. 6 %と続いている。